

前回の振り返り【ワーク】

1, 融資の5原則とは何がありましたでしょうか？

- ① 安全性の原則
- ② 公共性の原則
- ③ 成長性の原則
- ④ 収益性の原則
- ⑤ 流動性の原則

2, 信用調査では何を確認していましたでしょうか？

財務面では B/S P/L などの資料により判断

成長性

流動性、安全性

収益性

非税務面では、企業環境の分析、経営者などの面談実地検分などで判断

実態分析（ヒト、モノ、カネ）

環境分析

3, 貸借対照表ではどこを金融機関は見ていましたでしょうか？

債務に対し十分な支払準備の有無

非常時に対する準備の有無など

不良債権・在庫などが計上されていないか 支払い能力があるかどうか

4, 損益計算書ではどこを金融機関は見ていましたでしょうか？

5つの利益のどこで利益が出ていて、どこで損失が出ているかを見ている

融資する際の保証人について【ワーク】

1, 保証とはどのような種類がありましたでしょうか？

特定債務保証

根保証 限定根保証・包括根保証

2, 連帯保証人とは何だったでしょうか？

連帯保証人とは、保証人たる債務者と連帯して債務を負担する保証契約のこと

従来は冷帯保証がより担保価値が高いという理由から連帯保証が利用されていた

3, 現在の保証に関する考え方は何だったでしょうか？

できる限り保証人を設定せずに融資を行うようになっている

金融機関のリスク軽減方法【ワーク】

1, 金融機関にとって信用保証協会を利用するメリットは何だったでしょうか？

金融機関は万が一お客様から回収が不能になった場合でも信用保証協会から一部保証されているため損失を減らすことができること

2, 物的担保を設定する目的は何だったでしょうか？

不動産等の物的担保を設定して、万が一の場合、担保からお融資金額を回収できるようにすること

事例紹介【ワーク】

1, 資金使途を確認する理由は何だったでしょうか？

資金使途が明確でないものには銀行はお金を貸さないから

また、妥当性がなければ銀行は貸さない

2, 金額の妥当性を確認する理由は何だったでしょうか？

経常運転資金として必要なのか、季節資金として必要なのか

その妥当性を見ているから